

商学部における特色ある学部教育の補助「国内実態調査」 報告書

テーマ										
科目名	演習Ⅳ									
担当教員	斎藤 正武									
調査先	陸前高田しみんエネルギー									
調査期間	2025年10月29日(水)			～		2025年11月1日(土)				
参加学生数	1年生	名	2年生	名	3年生	名	4年生	4名		

調査の趣旨（目的）

卒業論文に関するヒアリング調査。地域新電力の運営実態やGX（グリーントランスフォーメーション）の推進状況を現地調査・ヒアリングを通して把握し、卒業研究において地域新電力が地域の持続可能性にどのように寄与しているのかを検証するため実態研究先として選定した。

調査結果

陸前高田しみんエネルギーにおいて、卒業論文に関するヒアリング調査を実施した。現地では、地域新電力の運営体制や事業内容、GX（グリーントランスフォーメーション）の推進状況について、担当者への聞き取りや施設見学を通じて調査を行った。特に、地域資源を活用したエネルギー事業が、地域経済や防災、環境政策とどのように結びついているのかを学ぶことができた。また、地域新電力が地域課題の解決や持続可能な地域社会の形成に果たす役割について理解を深め、卒業研究において実態に基づく分析を行うための貴重な知見を得ることができた。今回の調査を通じて、理論だけではなく現場に根差した視点の重要性を実感した。